



直線に変化をつけたリズムミカルな外観



光が差し込み心地のよい待合ホール



自発的な活動と好奇心を引き出す保育室

子育て支援タウンのシンボルとなる施設

宮の森こども園 厚南児童会館・厚南子育て支援センター

設計・監理：サン設計事務所

本施設は、町が進める子育て支援を充実させた「きりりタウン」の中心施設として計画された。地域の2つの保育園を統合した「認定こども園」と、地元公民館に入っていた「児童会館」に「子育て支援センター」機能を加えた構成となっている。

保護者の送り迎えと、こどもたちの施設利用に配慮した動線計画とし、南側に整備する園庭を見守るように建物を配置して、園庭で遊ぶこどもたちを職員・保護者・地域住民の協力により安全性と防犯性を確保する配置計画である。建物の用途から木材の温もりと柔らかさ、安全面を考慮して木造平屋建てとし、建物は渡り廊下により別棟扱いとして設計した準耐火建物。周辺の子育て支援住宅と関連性のあるデザインとし、町のシンボルとなる施設を作ることでこどもたちの創造力育成と記憶に残る施設とした。

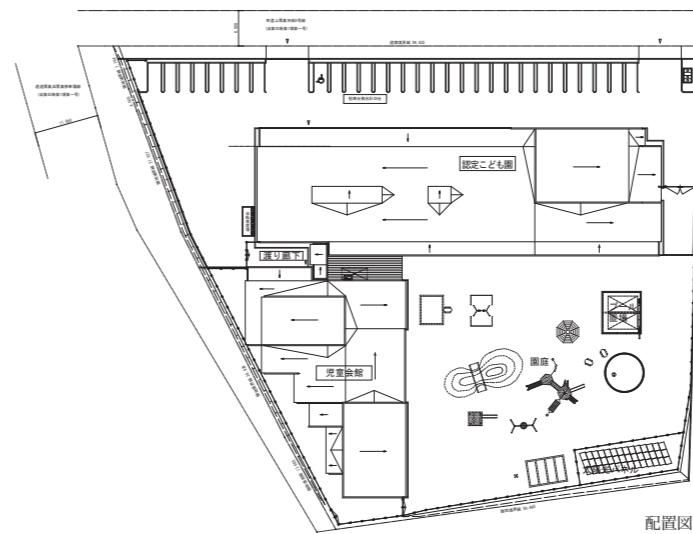
内部空間は大断面木造で、町産材や道産材を使用した構造材を現しとして、木材を活かすようにシンプルな内装。南側に各保育室と活動室を配置して光を取り入れた明るく温かい空間とし、廊下側には引違いの窓を設けて見通しと通風を確保。遊戯室・交流フリースペース・体育室の吹抜け空間と、各所に設けたハイサイドライトからは明るさとゆとりを感じ、こどもたちの多様な活動に対応できる内部計画である。デッキテラスは安全面と耐久性に配慮して再生木材を使用し、こどもたちの遊び場と交流を深める場としての役割を担う。職員の動線を考慮するとともに、常にこどもたちに目が届き声が掛けられ、こどもたちが遊びを通して覚えることを体感し、関心と興味を引き出すことができる空間構成となっている。

(岡田光章)

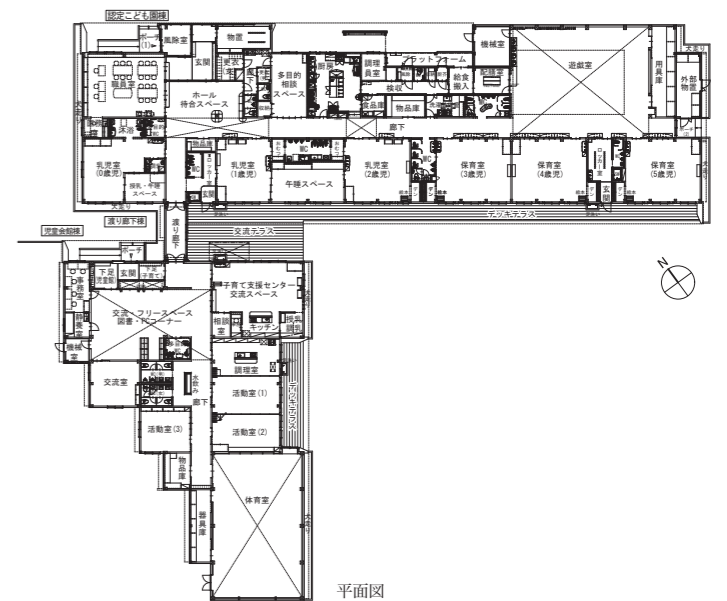


木材の温もりと表情豊かな交流フリースペース

町の樹木をかたどった保育サイン



配置図



平面図



南側立面図

所在地	北海道勇払郡厚真町上厚真 258	施工	建築：盛興・木本 JV 電気：厚信・三國・小寺 JV 空調・衛生：国策・矢部 JV
建築主	厚真町	用途	認定こども園、児童会館
定員	90名（認定こども園） 80名（児童会館）	構造・規模	W造（大断面工法）平屋
設計担当	岡田光章	敷地面積	6,428.42㎡
		延床面積	2,130.85㎡
		竣工	2016年3月
		撮影	シー・ビー・アクト



目線に配慮した安心で楽しい園児トイレ



安全面と耐久性に配慮したデッキテラス